



広島県鉄構工業会

理事長

山本泰徳氏

広島県鉄構工業会(山本泰徳理事長)が鉄骨加工業界のイメージを一新させる取り組みを進めている。ホームページをリニューアルし、動画のコンテンツを積極的に活用。山本理事長は「面白おかしく奇想天外をテーマに、今までには考えられないことに挑戦した」と話す。コロナ禍での取り組み、業界の現状、コロナ後の働き方などを聞

いた。昨年度の通常総会で若年層、女性をターゲットにした情報発信を展開する

時代に合わせた情報発信

デジタル化の対応も

入・キレイ・休暇あり」代。新聞や雑誌よりもSの実現に向けて立ち向かう内容となっている。出演者はすべて福山市にある会員企業の社員だ。山本理事長は「どのような形でも興味を持ってもらうこと。鉄骨加工のYouTubで配信される。労働はなくなり、機械化される予定だ。今年度の理事会、通常

と表明。担い手の確保が向いて、新しいホームページやPR動画などを取り組む、業界の現状、コロナ後の働き方などを聞

約10カ月かけて制作した注目のPR動画は、3K「きつい・汚い・危険」の工場でも触れ、女性戦士が新しい3K「高収入スマートフォンを持つ時



た注目のPR動画は、3K「きつい・汚い・危険」の工場でも触れ、女性戦士が新しい3K「高収入スマートフォンを持つ時



PRポスター

き沈みの激しい業界なので人材の流動化が進むことをチャンスと捉えるし「前向きな姿勢」が大幅に向上しているという。これからはさらにアフターコロナの働き方については「デジタル入し、IoT・AIに対応できる組織の体制を整えることが大切。旧態依然の考え方を打ち捨てる企業・業界はどんどん時代から取り残されるだろ」と鋭い口調で切り込

組合のホームページ

(<http://hsafa.jp/>)。